

学校名	市川市立福栄小学校
活動名	海とつながる 2018

#### <実践の概要・活動のねらい>

本校は三番瀬や野鳥をはぐくむ行徳湿地に近く、昔から東京湾の恩恵を受けて発展してきた地域である。また、地域の方々の防災意識が高く、一つにまとまっている地域でもある。本プログラムには2017年度より取り組みを始め、2018年には地域展開部門として近隣校と情報共有し、実践報告会を行った。その間、海洋教育に関するカリキュラム・マネジメントを行い、本校の特色が出来上がりつつある。

学校教育目標では「アモーレ！ ～愛あふれる環境の中で心身ともに健康な子どもを育む～」の実現に向けて、体験的な活動を重視し、主体的・対話的で深い学びを実現し、児童の問題解決能力をさらに高めることを目標とする。この学校教育目標を達成すべく、自分たちのできること、これからのまちづくりについて考え、地域に愛着や誇りを持つ児童を育てたいと考えた。

#### <実施計画>

各学年それぞれ取り組むものが異なり、「海」に関することを、さまざまな教科で取り入れてみた。

1・2年生では、海に関連する本を読み聞かせ、体験活動を交えながら読書感想画を制作した（2年生は未実施）。3年生では、市内の学習をする中で、海苔について学び、海苔屋さんの出前授業を行った。4年生では、行徳鳥獣保護区を年数回見学し、行徳干潟の生き物について学びを深めた。さらに社会科・理科の学習内容と関連付けて、水の循環を総合的にとらえる中で海について学習した。5年生では、この地域で江戸へ献上するために塩作りをしていた塩田や、現在でも行われている海苔づくりについて調べ、市川の水産業についても少し触れた。また、海苔を使った千葉県郷土料理である「祭りずしづくり」を、親子共同活動として取り組んだ。（6年生は実施できなかった。）

実践の評価については、その学年のテーマに関して、どの程度主体的・対話的で深い学びを実現したかを成果物や発表会を通して評価した。

#### <今年度の実践>

計画からの追加・変更点：

- ・3年生では、市川の特産品の海苔を調べ、海苔を食べる活動や海苔について深く調べるために博物館見学を催した。
- ・4年生では、鳥獣保護区に当初の予定より一度多く出向き、季節によっての生き物の様子の違いを深く調べることができた。
- ・2、6年生は残念ながら、計画していたことは実施できなかった。

成果：

- ・自分の住む地域と海との関連を詳しく知ることができた。
- ・子どもたちの中に、新たな学び、探究心が生まれた。
- ・たくさんの体験を伴った活動を数多く実施できたことで、子どもたちの意欲を引き出すことができた。

課題：

- ・系統学習やカリキュラム編成の際，どこで「海」について学習していくか，どの学年もできるように，もう一度年度当初に話し合う必要がある。
- ・行事（「縦わりグループ活動」や「読書発表会」）を利用したことが，あまりできなかった。
- ・他校と連携した取り組みができなかった。

<主な連携機関及び内容>

3年生：浦安郷土博物館，かとう海苔店

4年生：行徳鳥獣保護区，下水処理場

5年生：市川市立福栄小学校栄養士

平成30年度 海洋教育パイオニースクール 活動

市川市立福栄小学校

月・学年	3年生	4年生	5年生	6年生
重点	地域・伝統文化 人々の暮らし	自然	環境	国際理解 キャリア教育
4月				
5月				
6月		・野鳥観察舎見学		
7月	・江戸川・三番瀬の生き物調べ			
8月				
9月		・市川市（行徳）の自然を知ろう ・下水処理場見学	・全国の水産業	
10月	・読書発表会を成功させよう	・読書発表会を成功させよう	・読書発表会を成功させよう	・読書発表会を成功させよう
	読書発表会			
11月		・野鳥観察舎見学		
	津波対応防災訓練			
12月	・のりを食べてみよう	・野鳥観察舎見学	・祭りずし体験	
1月	・のりについて調べよう（博物館）			
2月	・のり出前授業			
3月				

※1年生…読書感想画（9月園工）